

しずおか タイムトラベル 2025

～登呂遺跡のマエとアト～



2025年4月26日(土)～6月29日(日)

 静岡市立登呂博物館

開館時間 | 9:00-16:30
休館日 | 月曜日、祝日の翌日
観覧料 | 一般 300 円、高校・大学生 200 円、小中学生 50 円
〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目 10 番 5 号
Tel. 054-285-0476
<https://www.shizuoka-toromuseum.jp/>



しずおか タイムトラベル 2025 ～登呂遺跡のマエとアト～

マエ縄文時代

米づくりが伝わる前の狩りや木の実の採集などをして食べ物を手に入れていた時代です。登呂遺跡の東側にある有度丘陵などでも縄文時代の遺跡が見つっています。有度丘陵で近年発見された堀ノ内 A 遺跡の資料などを展示します。

弥生時代

大陸から伝わった米づくりが広まった時代です。登呂遺跡はまさにこの弥生時代の遺跡で、生活用具以外にも米づくりに関わる道具が多く出土しています。登呂遺跡の資料のほか、登呂ムラの前に存在した有東ムラに関連する資料などを展示します。

アト古墳時代

弥生時代から引き続き米づくりが行われていますが、クニを治める首長によって古墳という大きなお墓がつけられた時代です。登呂ムラの後の時代に存在した小黒遺跡の資料や古墳の副葬品、近年発見された曲金 C 遺跡の資料などを展示します。

当展示の魅力や見どころを解説します。
令和7年5月4日(日)、令和7年6月15日(日)
各日 10:30～、14:00～
場所 登呂博物館 2階 特別・企画展示室
費用 無料(要観覧料)

開館時間 | 9:00-16:30
休館日 | 月曜日 祝日の翌日
観覧料 | 一般 300 円 高校・大学生 200 円 小中学生 50 円
〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目 10 番 5 号
TEL 054-285-0476
<https://www.shizuoka-toromuseum.jp>

登呂遺跡のある静岡市では、登呂ムラに入々が住むよりもずっと前から生活が営まれていたことがわかっています。

この展覧会では、登呂ムラのあった弥生時代とその前後にあたる縄文時代や古墳時代の静岡市域の遺跡から発見された出土品を紹介し、考古学や発掘調査によって知ることのできる静岡市の歴史を覗いてみます。

登呂ムラがあった時代よりも前の時代や後の時代の人々の暮らしや風景はどのようなものだったのでしょうか。登呂遺跡と比べながら旅してみましよう。



① 縄文土器 (堀ノ内 A 遺跡) ② 四本歯又鉄 (登呂遺跡) ③ 勾玉 (曲金 C 遺跡)
④ 縄文土器 (冷川遺跡) ⑤ 有東遺跡新指定 集合写真 ⑥ 大型壺 (小黒遺跡)

関連講座「文化財がいっぱい!静岡市学芸員のイチオシトーク」

「学芸員」と聞くと博物館で働く人を想像されることが多いと思います。

しかし、静岡市には市役所で文化財の調査・保存・活用を担う学芸員がいることを知っていますか?この講座では静岡市の文化財を支えている現役の学芸員がイチオシの文化財や静岡市の歴史にまつわることをお話します。

■ 場所 登呂博物館 1階交流ホール
■ 料金 無料
■ 定員 40 人程度
■ 対象 どなたでも
■ 申込 当日受付

5月24日(土) 13:00～14:30

◇黒澤 謙「しずおかのアクセサリー (弥生時代篇)」
◇熊谷 すずみ「ミカンモ文化財?! ~意外と知らない家産手続の審判～」
◇渡邊 智大「守れ!博物館のお宝 ~迫りくる?つの敵～」

5月31日(土) 13:00～14:00

◇毛利 舞香「振り返ると前方後円墳 ~静岡清水平野の古墳と歴史～」
◇五十嵐 蓮「三保松原ってどこなところ? ~芸術作品からみる三保松原～」

6月7日(土) 13:00～14:00

◇松原 草太「のぞいてみよう 発掘された井戸 ~水を求める静岡人～」
◇森山 郁真「平安時代から鎌倉時代の久能寺について」
～このおきは、平氏とつながってるの?源氏とつながってるの?～」



《バス》 JR 静岡駅南口 22 番乗り場から石田街道線「登呂遺跡」行き(10分) 終点下車

《車》 東名静岡 IC から約 10 分
東名日本平久能山スマート IC から約 10 分
遺跡南側に有料駐車場 50 台有り
(普通車 1 台 400 円)



 静岡市立登呂博物館
Shizuoka City Toro Museum